

様式第2-4号(規則第2条関係)

設 計 説 明 書

宅地の造成、土地の開墾その他の土地の形質の変更、水面の埋立て又は干拓、土石の類の採取

行為の区分	行為の概要					※摘要	
1 宅地の造成、土地の開墾その他の土地の形質の変更	行為の場所	(ア)建築物の敷地内 (イ)建築物の敷地外		行為面積	m <sup>2</sup>		
	隣接地の現況						
	跡地の処理方法						
	生ずるのり面の最高の高さ						
	移動土量	切土	m <sup>2</sup>	客土	m <sup>2</sup>		
		盛土	m <sup>2</sup>	その他( )	m <sup>2</sup>		
	緑地面積	m <sup>2</sup>	内訳	自然の緑地	m <sup>2</sup>		
				人工の緑地	m <sup>2</sup>		
	緑地率	(緑地面積の敷地面積に対する割合)				%	
	植栽の内訳	植栽区分	高木	中木	その他		
新植		本	本				
既存		本	本				
移植		本	本				
計		本	本				
2 水面の埋立て又は干拓	水面面積	m <sup>2</sup>		埋立て又は干拓面積	m <sup>2</sup>		
	隣接地の現況						
	跡地の処理方法						
	施工方法						

3 土石の類 の採取	採取区域面積	m <sup>2</sup>	採 取 量	m <sup>2</sup>	
	採取土石類の 種類				
	採 取 方 法	(ア)横杭堀 (イ)縦杭堀 (ウ)斜杭堀 (エ)その他( )			
	運 搬 方 法				
	跡地の処理方 法				

【備 考】

- 1 該当の番号又は符号を○で囲んでください。ただし、「行為の区分」の欄は、2以上の行為を併せて行う場合は、それぞれについて記入してください。
- 2 「隣接地の現況」については、林地、伐採跡地、草生地等の別及び木竹、建築物、工作物の有無を記入してください。
- 3 「跡地の処理方法」については、裸地、砂利舗装、埋戻し等及びのり面の芝、コンクリートブロック擁壁、放置等について具体的に記入してください。
- 4 「移動土量」のうちその他については、堀削、搬出等を具体的に記入してください。
- 5 「採取方法」のうち(エ)その他については、採取方法を具体的に記入してください。
- 6 変更の場合は、変更部分について変更前のものと変更後のものが対比できるように2段書きとし、変更前のは黒書で下段に、変更後のは朱書で上段にそれぞれ記入してください。
- 7 ※の欄は、記入しないでください。